

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	作業活動と生活支援の両面で利用者の主体的な自己選択・意思決定を支援している
	内容	事業所では、作業種別や余暇活動を増やし、利用者が自ら選択し力を発揮できるよう支援している。また、利用者の意思決定の機会として、自治会やタウンミーティングなど利用者による主体的な会議体があり、施設内ルール集約などを実施している。具体的な取り組みとして、利用者による広報誌の取材や編集、全利用者が参加しているクラブ活動、GENKI祭りや忘年会への参加・クラブ発表、利用者意向を反映した小グループでの外出、宿泊旅行などを実施して、利用者の主体的な活動を支援している。
2	タイトル	利用者主体の個別支援計画を作成しており、支援目標と支援内容は一覧表にして支援員が所持し常に確認して支援にあたっている
	内容	事業所では、利用者・保護者の希望や要望の達成に向けた、利用者主体の個別支援計画を作成しており、職員が情報を共有し支援にあたっている。計画には、支援内容と目標達成を確認しやすくするために、利用者個々の作業・生活両面の長期・中期の支援目標と利用者の意欲・意識を高めるための具体的な声のかけ方・伝え方・確認方法などの支援内容が記載されている。利用者個々の支援目標と支援内容は、一覧表にして支援員が所持し、確認しながら計画に沿った支援を行なっている。
3	タイトル	精神科・内科・歯科など嘱託医との連携とともに、栄養士や機能訓練士など専門職による、利用者の健康維持・管理に向けた支援を行っている
	内容	利用者の健康管理には、毎週来訪の精神科医と内科医は、利用者や保護者の健康相談に応じ、通院、服薬、体調の急変などに対応したり、職員も精神科医より医療的見地からの助言を得て支援に活かしている。歯科医師が年3回歯科検診とブラッシング指導を行い、栄養士は毎日の給食の摂食残量や法人内葛飾地区の栄養士会でのミールラウンドから食形態の適正を管理している。これらの専門職の協力を得て、利用者の健康維持・管理のための支援を実施している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	大規模災害などの防災対策として、地域自治会、行政、他施設との連携に期待したい
	内容	事業所では、地震や火災を想定して、避難訓練を実施している。また、区の二次避難所として要援護者の受け入れ施設となっている。さらに、AEDの設置、飲料自動販売機の無料開放などを準備している。一方で、事業所の立地は、海抜ゼロメートル地帯にあり大規模災害に向けて、地域自治会、近隣の学校などの避難所と連携した葛飾地区、地域防災訓練への参加及び連携、災害を想定した事業所独自の具体的な事業継続計画策定に期待したい。
2	タイトル	様々なマニュアル・手引書が作成されているが、個別利用者支援マニュアルの見直しと日常的に職員が活用できるような取り組みに期待したい
	内容	事業所では、利用者支援の基本事項など様々なマニュアル・手引書が作成されており、点検・見直しは、担当者を置いて定期的に行なっている。今年度は、個別支援計画の書式に引き続き、アセスメントにおいて利用者・家族の意向を支援に反映する支援サービスの手順などを明確にして、支援の標準化を図ることができた。一方、職員全体にマニュアル類が行き届いていない面があることから、さらに職員を交えて検討するなどの改善策を検討している。職員への周知方法や日常的に活用できる方策への取り組みに期待したい。
3	タイトル	現時点で、就労移行支援の登録利用者が不在なため、今後の方向性と対策に期待したい
	内容	就労移行支援事業は、平成23年度に定員6名の指定を受け、就労移行への活動をハローワーク、区の障害者就労支援センターと連携を取り就労実績を得ることができていた。一方で、区全体の就労移行利用者は減少傾向にあるものの、昨年度から今年度にかけて、利用者の登録実績がない。現在、就労移行への具体的な活動は、就労継続支援B型の利用者が希望により参加している。地域福祉ニーズの分析、同業他法人の動向などを検証して、今後の方向性と対策についての検討に期待したい。